

阪神高速道路株式会社 技術審議会

技 術 審 議 会 資 料

No.2

日付 平成25年4月4日

技術委員会の再編と技術審議会における今後の審議方針

平成25年4月4日

阪神高速道路株式会社

技術委員会の再編と 今後の審議方針

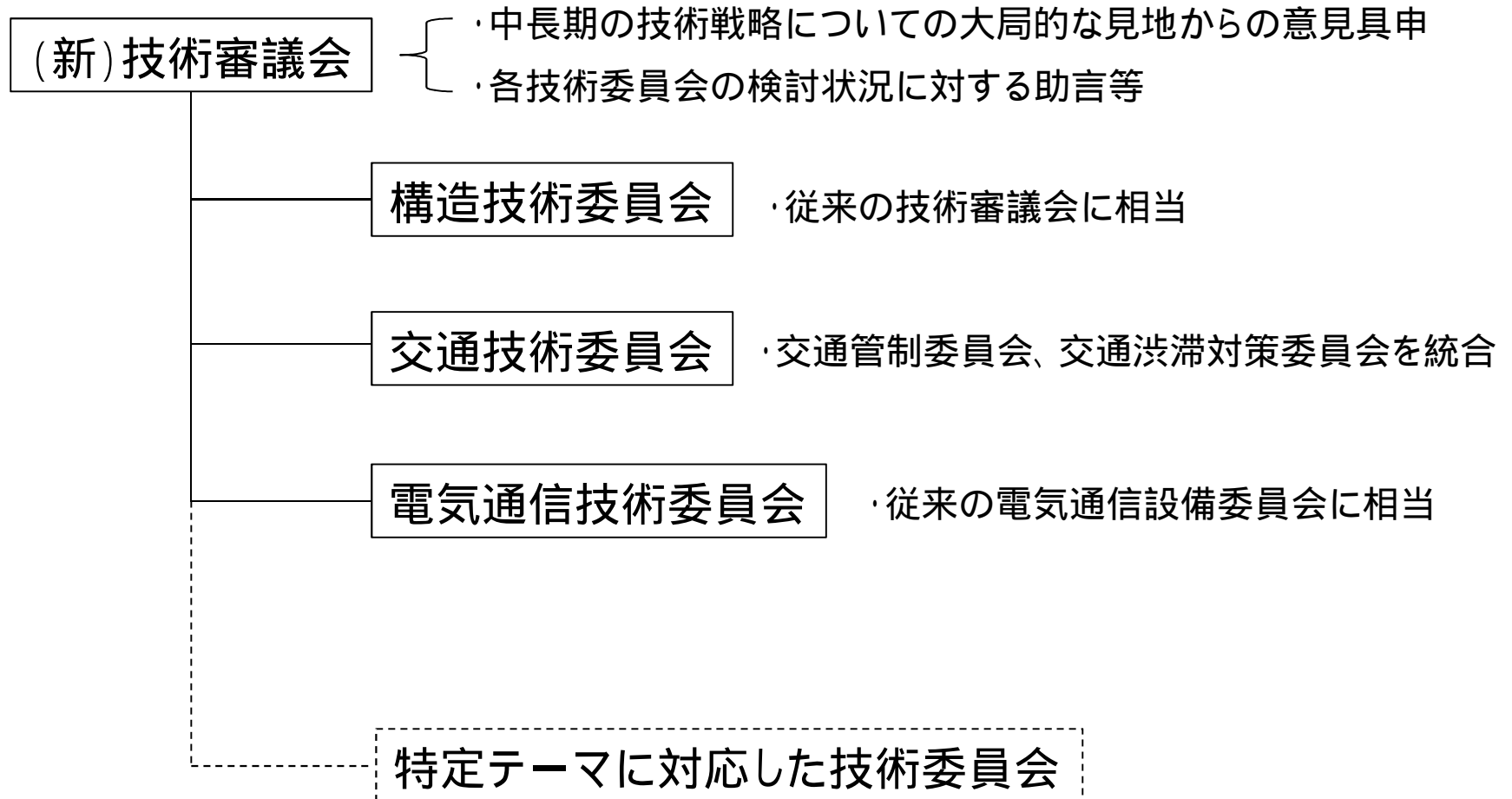
阪神高速道路(株)

平成25年4月4日

技術審議会の再編

- 技術審議会の審議内容は建設系の課題から、アセットマネジメント、長寿命化、更新等維持管理系の課題が増加
- また既存施設の有効活用といった観点から、最新のITS技術等の活用、減災への取り組み、地球環境に配慮したテーマへの取り組み等、阪神高速道路の高度化や価値向上を図るための技術的検討の重要性が高まる
- 当社の事業の特徴や研究・技術開発を取り巻く環境の変化に対応するため、創立50周年を機に、新たな体制として再出発
- 阪神高速道路(株)の企業理念である「先進の道路サービスへ」を具現化するため、従来からの土木構造物のハード技術だけでなく、別途開催していた交通系および設備系委員会を統合し、ソフトの分野を含めた幅広い技術分野を審議する場(技術審議会)と再編し、当社の中長期的な技術戦略に対し、大局的な見地から意見、助言、提案をいただく

新たな技術審議会の組織体制



新たな技術審議会での対象領域

- 当社の技術の将来像や、その実現のための必要な施策、取り組み、進め方を抽いた「阪神高速ビジョン2020」、「阪神高速の技術戦略」の内容や、その改訂、深耕についての助言等
- 長期維持管理、更新の基本的なあり方に関する事項
 - ・長期的な維持管理戦略に関する助言
 - ・将来の更新戦略に関する助言
- 個別の分野ばかりでなく、各分野にまたがる、あるいはハード・ソフトの融合された技術の検討に関する助言等

